2026年日本平和大会実行委員会ニュースno.12

発行:2026年日本平和大会実行委員会(事務局＝日本平和委員会内) 2026/11/2
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

日本平和大会を成功させようと、総会で学習と運動交流 安保破棄愛知県実行委



愛知県では10月28日、名古屋市内で安保破棄県実行委員会総会が開催されました。この総会を日本平和大会成功の場ともしようと、学習＆運動交流会がもたれ、８団体30人が集まりました。

城下県平和委理事長が、平和大会学習パンフを活用しながら、安保三文書改定で何が変えられようとしているか、また愛知の軍需産業の変化はどうなっているかについて40分ほどのミニレポート。長射程ミサイルの生産がはじまり配備が本格化しようとしている危険性や、軍事産業で攻撃型ドローンの大量生産体制が作られようとしていることなど、愛知で浮かび上がる危険性を指摘しました。同時に軍事強化によって抑止力を高めると言うが、基地の地下化を進めているように日本を戦場化することを前提とするもので抑止力論は完全に破綻していると強調しました。

７団体地域から発言 運動交流では、労組や地域から７人が次々と発言。「戦争の長期化によって民間病床を確保するという政府の方針に危機感を感じている。医療労働者が戦争動員させないために力を尽くしたい」(医労連)、「〝子ども向け防衛白書〟の配布は、一方的な内容の自衛隊広報誌となっている。募集活動が学校現場に浸透しているが、それに抗う信頼できる教師も現場にはまだたくさんいる。その組合員は現場の希望となっている」(高教組)、「特定利用港湾指定によって歪められたインフラ整備を担わされる危険を感じている。指定撤回の署名運動を行ってきた。愛知県知事選挙で転換させていきたい」(自治労連)、「防災センターの子ども向け企画で、自衛隊服に着せ変える企画があったことを知り、抗議の申込を行い、企画を中止させた。機敏な行動が変化を作った」(港区)、「愛知の軍事産業内の話として上司から『徴兵制ができても武器を作っている君らは徴兵されることはない』とのやりとりに寒気がした」(小牧地域)、「名古屋大学では自衛隊イベントを完全中止させた。日本平和大会へこれらの運動を持ち寄り発展させよう」(建交労)と交流しました。

参加目標30人で、約20人確定 愛知県では日本平和大会へ現在約20人が参加を予定しています。「会議の成果を活かし、パンフの普及・学習も、代表派遣でもがんばりたい」と矢野県安保破棄実行委事務局長は話しています。

★大会まで４週間を切りました。それぞれ成功させていきましょう

■**プレ企画 part4** 11月８日(日)13:30～16:00 https://forms.gle/F3fuAvgfbBPM2HiX6

「自衛隊名簿自治体による自衛隊への名簿提供をゆるさない ― その取り組みの到達と交流」

■**国際シンポジウム** 11月14日(土)14:00～17:00 ＊別添

■**オプショナル企画・動く分科会** **Aコースあとわずかで満席です。Dコースは最少催行人数を突破。**

動く分科会(29日)あと10数人ほどで満席です。B・C・Eコースまだ空きがあります。